

単元名：

ダブルセット・バレーボール

(全8時間扱い中 第3時)

授業日時 令和3年10月22日(金)第2校時

授業学級 3年E組

授業会場 体育館

授業者

指導者

(1) ねらい

アタックにつなげるための役割に応じたボール操作をすることができる。

(2) 授業のポイント

- ・場面：得点をするために、どのように連携すればよいか考える。
- ・活動：「予備セッターセット」の二人の距離と体の向きを意識してゲームをする。

(3) 展開

| 過程 | 活動                                        | ○授業者の主発問・◇留意点・★教材                                                                                                        | 時間 |
|----|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
| 導入 | 【単元の学習問題】得点をするために、どのように連携すればよいだろうか。       |                                                                                                                          | 10 |
|    | 1. 前時の振り返りを行い、各ポジションの役割を確認する。             | ○「それぞれの役目っていったい何かな」プレイヤーを図で示す。(前衛：セッター、後衛：残りの役割)<br>○「レシーブの落としどころはコートの中がよかったよね」<br>◇相手のサーブやレシーブの状況を見て役割は変更してもよい。         |    |
|    | 2. 「予備セッターセット」の2人の距離と体の向きを考える。            | ○「予備セットとセットはどうすれば安定するかな」<br>◇アタッカーが打ちやすい予備セットとセットについて確認する。                                                               |    |
|    | 【学習課題】「予備セッターセット」の2人の距離と体の向きを意識してゲームをしよう。 |                                                                                                                          |    |
| 展開 | 3. チームごとに練習を行う。                           | ○「予備セット、セットしやすいボールってどんなボールか考えながらプレイしてみよう」<br>◇次に触球する人はどんなボールが操作しやすいかを考えながらプレイできるように促す。                                   | 5  |
|    | 4. 試合を行う。<br>前後半4分を2試合                    | ◇ボールのねらいどころについての声掛けをする。<br>◇手が空いているメンバーは、ゲーム記録をとるように促す。<br>◇ハーフタイムは、グループで振り返るように促す。<br>【評価】アタックにつなげるための役割に応じたボール操作をしている。 | 25 |
| 終末 | 5. 本時の振り返りを行う。                            | ○「うまくアタックを打てたときに、予備セッターとセッターの二人の距離はどうだったかな？」<br>◇生徒の課題意識から次時の見通しをもてるようにする。                                               | 10 |

## A－2．教育実習 ICT 活用報告

指導案内で。I C T機器の活用の記述はないが、ゲーム実践の中で、iPad を活用したゲーム記録の作成を行った。カメラで録画撮影を行った。画面左半面がカメラのモニター、右半面にコートの図を表示し、攻撃の肝となるセッターの位置と、その位置からの攻撃が成功したか失敗したかを色分けしてわかるように表示している。この iPad を自陣コートの後ろ側から撮影できるように三脚で設置した。試合のハーフタイムに作戦タイムを設けて、ゲーム記録から、アタックが成功したときのセッターの位置関係に着目して話し合いができるようにした。授業終盤のまとめの時には、チームごとに本時の良かったプレイをチェックしながら、どんなプレイがいい連携につながったのかということや、上手くいかなかった場面で、どんな課題が見つかったかを話し合えるように教師側から促した。